

平成23年度における「がん対策」に関する具体的な事業一覧

都道府県名 岡山県

(1) 放射線療法及び化学療法の推進並びにこれらを専門的に行う医師等の育成

事業名	事業内容	国庫補助の有無	22年度予算額	23年度予算額	実施主体
			千円	千円	

(2) 治療の初期段階からの緩和ケアの実施

事業名	事業内容	国庫補助の有無	22年度予算額	23年度予算額	実施主体
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会事業	がん診療に携わる医師を対象に、厚生労働省が定める開催指針に基づき、緩和ケア研修会を開催する。	都道府県がん対策推進事業(厚生労働省健康局)	千円 1,388	千円 1,388	県(岡山県医師会に委託)

(3) がん登録の推進

事業名	事業内容	国庫補助の有無	22年度予算額	23年度予算額	実施主体
生活習慣病登録・評価事業	<ul style="list-style-type: none"> がん患者の登録、集計分析及び管理 がん精密検診受診者の精密検診結果の収集、集計分析及び管理 	無	千円 21,213	千円 17,850	県(岡山大学病院へ委託)

(4) がん予防・早期発見の推進

事業名	事業内容	国庫補助の有無	22年度予算額	23年度予算額	実施主体
乳がん子宮がん検診受診促進事業	(1)岡山県がん予防ネットワーク事業 (2)乳がん・子宮がん検診受診促進キャンペーン	無	千円 1,120	千円 1,121	県
生活習慣病検診等管理指導協議会	がん検診の実施方法や精度管理のあり方等について専門的な見地から指導を行い、がん対策の推進を図る。	無	897	1,009	県

(5) がん医療に関する相談支援及び情報提供

事業名	事業内容	国庫補助の有無	22年度予算額	23年度予算額	実施主体
がん患者のQOL維持向上支援事業	(1)がん患者ネットワーク会議の開催 (2)がん患者会への専門家派遣事業	都道府県がん対策推進事業（厚生労働省健康局）	千円 2,204	千円 2,495	県

(6) がん医療水準均てん化の促進

事業名	事業内容	国庫補助の有無	22年度予算額	23年度予算額	実施主体
がん診療連携拠点病院機能強化事業	県民がどこに住んでいても質が高く安心して療養ができるようがん医療の提供体制の整備を行う。	がん診療連携拠点病院機能強化事業（厚生労働省健康局）	千円 45,000	千円 45,000	岡山済生会総合病院 岡山赤十字病院 倉敷中央病院 津山中央病院 川崎医科大学附属病院

(7) がんに関する研究の推進

事業名	事業内容	国庫補助の有無	22年度予算額	23年度予算額	実施主体
			千円	千円	

(8) その他

事業名	事業内容	国庫補助の有無	22年度予算額	23年度予算額	実施主体
がん診療施設設備整備事業	がんの診断・治療を行う医療施設に対して、がんの臨床検査機器等の整備を行う。	がん診療施設整備事業（厚生労働省医政局）	千円 42,000	千円 21,000	倉敷中央病院 津山中央病院
地域保健医療体制推進事業	岡山県がん対策推進協議会の開催	無		1,607	県
がん医療連携推進事業	地域の医療機関を対象に、がん地域連携クリティカルパスに関する説明会を開催し、地域の関係機関と連携して、その活用を図る。	医療連携体制推進事業 地域医療再生事業 (厚生労働省医政局)	945	3,026	県
「がん対策」予算合計			千円 114,767	千円 94,496	

(自由記載)

都道府県における取組の詳細について

都道府県名 岡山県

予算額だけでは見えてこない各都道府県独自の特色ある取組の内容を、ご自由にご記載ください。

- 岡山県では、平成4年度から「地域がん登録」を実施しているが、今年度から岡山大学病院に委託し、がん患者の登録、集計分析及び管理を行っている。

また、罹患数や罹患率、生存率、受療状況等をまとめて、毎年「岡山県におけるがん登録」の冊子を刊行し、がん予防・がん医療の向上の礎となっている。
- 乳がん検診について、岡山県乳がん検診指針を県独自に定め、市町村が実施する乳がん検診について、30歳以上の女性に年1回の検診を勧めている。(検診の内容は、30歳代は問診と視触診、40歳以上は問診・視触診、マンモグラフィ) この検診の体制、受診勧奨により、乳がん死亡率は全国平均より低くなっている。

また、乳がん・子宮がん検診受診促進事業として、乳がん月間において、愛育委員等、地区組織と

協働して、街頭での普及啓発を行っている。

- 岡山県が主体となり、年1回、「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」（厚生労働省の開催指針に基づく）を実施している。国のがん対策推進基本計画において、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得すること」という目標を踏まえ、治療の初期段階から緩和ケアが提供されることを目指している。

また、緩和ケアについて、介護支援専門員（ケアマネージャー）の研修会の中にも取り入れ、人材育成に努めている。

- がん予防の取り組みとして、たばこ対策について、県では、「がん対策推進計画」と「健康おかやま21」の両方で取り上げ、事業内容は、未成年者などを対象にした啓発、禁煙問題に関する講演会等への講師派遣や県独自に「禁煙・完全分煙実施施設認定事業」を行っている。

- 岡山県がん対策推進計画の中で、がん患者・家族への支援として、がん患者が住み慣れた地域や家庭で療養でき、自分らしく生活できることを目指しており、がん診療連携拠点病院と連携して、相談体制の充実や患者会活動等が活発になるよう支援している。
- 「健康おかやま21協賛事業（がん対策協賛事業）」として、地域で活動を行っている各種団体や学校、企業が行う事業で、健康づくりの目的に沿って実施される協賛事業を募集し、認定をしている。
- 県内のがんに関する情報を総合的に提供するホームページ（「岡山がんサポート情報」）を開設しており、がん検診や緩和ケア、患者会が行う相談会や講演会、県が後援する講演会等の情報を提供（更新）するとともに、メールマガジンの配信等を実施している。
- 岡山県医師会等との共催により、がん予防に関する正しい知識の普及と、より積極的な対がん運動を県民全体で推進するために、「がん征圧岡山県大会」を開催している。

- 今年度、「岡山県がん対策推進計画」の進行・管理を行う「岡山県がん対策推進協議会」を新たに設置し、今後のがん対策について協議を行うなど、総合的ながん対策を推進していく。
- 昨年度にがん診療連携拠点病院が中心となって整備した5大がんに係る地域連携クリティカルパスの普及を図るため、がん診療連携拠点病院と保健所が地区医師会と協力して、医療機関を対象に地域連携クリティカルパスの説明会を実施する。